

▶自動車侵入検知装置

三井寺駅付近の併用軌道と専用軌道（専用敷地内に設置した線路）の境界から自動車が誤って専用軌道に侵入したとき、接近する列車を緊急に停止させるための装置を設置しています。あわせて、自動車の進行方向を矢印灯で表示し、ドライバーに注意を促しています。



自動車侵入検知装置



矢印灯

6. 駅の安全性向上

(1) ホームの安全対策

▶列車接近表示装置

お客さまに列車の接近をお知らせします。2022年度末時点で京阪線全駅、大津線6駅（御陵駅を除く）に設置しています。



▶ITV（監視用テレビ装置）

乗務員が直接お客さまの乗降の様子を確認しづらい箇所には、監視カメラを設置し、安全確認を行います。2022年度末時点で京阪線全駅、大津線6駅に設置しています。



▶戸閉合図装置

駅係員が車掌に列車の扉を閉めるタイミングを知らせ、扉事故を防止する装置です。2022年度末時点で京阪線14駅に設置しています。



▶ホーム異常通報装置

お客さまがホームから軌道上に転落された場合など、列車を停止させなければならない事態が生じたとき、ホーム上に設置した非常通報ボタンを押すと、乗務員および駅係員に特殊信号発光機(大津線、警報灯)や警報ランプ、警報サイレンで異常を知らせ、事故を未然に防止する装置で全駅(御陵駅を除く)に設置しています。



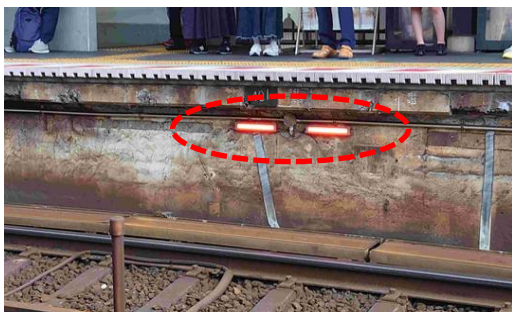
▶内方線

目の不自由なお客さまにホームの内側がどちらかをお知らせするブロック(線上の突起)で、全駅に設置しています。



▶ホーム足下灯

ホームと車両の隙間の大きい箇所には乗降時のお客さまに点滅して注意喚起するLED照明設備を設置しています。2022年度末時点で北浜駅2番線、京橋駅2番線、光善寺駅1番線、枚方市駅3・5番線、御殿山駅2番線、石清水八幡宮駅3番線、中書島駅2・4番線、六地藏駅2番線、黄檗駅1・2番線、京阪膳所駅上下線に設置しています。



▶注意喚起シート

お客さまに視覚的、心理的にホーム端部の危険性を訴え、ホームからの転落および列車との接触を防止するシートです。2022年度末時点で淀屋橋駅1・3・4番線、北浜駅1・2番線、京橋駅1・2番線、萱島駅2番線、寝屋川市駅1番線、光善寺駅1・2番線、枚方市駅4番線、中書島駅2番線、祇園四条駅1・2番線、京阪膳所駅上下線に設置しています。



▶くし状ゴム

ホームと車両の隙間の大きい箇所に設置し、隙間を小さくしています。2022年度末時点で京橋駅1・2番線、黄檗駅2番線、京阪膳所駅上下線に設置しています。



▶ホーム転落検知装置

お客さまがホームから軌道上に転落された場合など、ホーム下軌道内に設置した検知マットが検知すると、乗務員および駅係員に警報ランプや警報サイレンなどで異常を知らせ、事故を未然に防止する装置です。2022年度末時点で光善寺駅1番線、石清水八幡宮駅3番線、中書島駅2・4番線、六地藏駅2番線、黄檗駅1・2番線、京阪膳所駅上下線に設置しています。



▶ホーム下待避スペース・ステップ

お客さまが軌道内に転落した場合に安全が確保できる待避スペースや、ホームへ上がるためのステップを設けています。



ホーム下待避スペース(左)とステップ(右)

▶ホーム注意喚起放送

ホームと車両の隙間からの転落や閉扉時の事故を防止するため、一部の駅では列車のホーム進入時および閉扉時に自動音声による注意喚起放送を実施しています。2022年度末時点で大和田駅2番線、光善寺駅1・2番線、御殿山駅2番線、橋本駅1・2番線で実施しています。

▶ホームドア

お客さまのホームからの転落や列車との接触事故を防止するため、2022年から京橋駅1・2番線にホームドア（大開口腰高式）を設置しています。



(2) キャンペーン・運動

▶「駅ホームでの声かけ・見守り促進」

キャンペーン、「声かけ・サポート」運動

国土交通省、鉄道事業者などが連携した「駅ホームでの声かけ・見守り促進」キャンペーンや、全国の鉄道事業者等と連携して「声かけ・サポート」運動に参加し、お客さまが安心して安全に駅などの施設をご利用いただけるよう、お客さま同士のお声かけなどの助け合いへのご協力を呼びかけています。



○「スマホでインターホン」の導入

お客さまがお持ちのスマートフォンが、インターホンとして利用できるシステム「スマホでインターホン」を京阪線全駅で導入しています。ブラウザで利用できるため専用のアプリは不要。係員との音声通話のほか、ビデオ通話や文字によるチャット形式の対話も可能で、耳の聞こえづらいお客さまも利用しやすい設計です。すべてのお客さまが安全かつ快適にご利用いただける環境づくりを進めていきます。